

音楽療法

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 1単位

《担当者名》 浅野雅子 (リハビリテーション科学部 asanom@hoku-iryo-u.ac.jp)
近藤里美 (リハビリテーション科学部) 増澤綾子 (非常勤講師)

【概要】

多様な障がいに対する支援技術として音楽を用いるための基礎知識を習得する科目である。近代音楽療法の歴史、音楽の療法的役割について学ぶ。また、音楽を療法的に実践するための基礎的な音および音の表現の意味理解などについて演習を通じて学ぶ。

【学修目標】

音楽療法をリハビリテーションに活用するための基礎知識を学ぶ。

1. 音楽療法の歴史を知る。
2. 音楽療法の背景となる様々な考えを述べることができる。
3. 様々な障がいに対する音楽の療法的な役割について説明することができる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

浅野雅子（作業療法士、音楽療法士）、近藤里美（音楽療法士）、増澤綾子（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や介護保険施設などでの実務経験を活かし、担当の講義を行う。